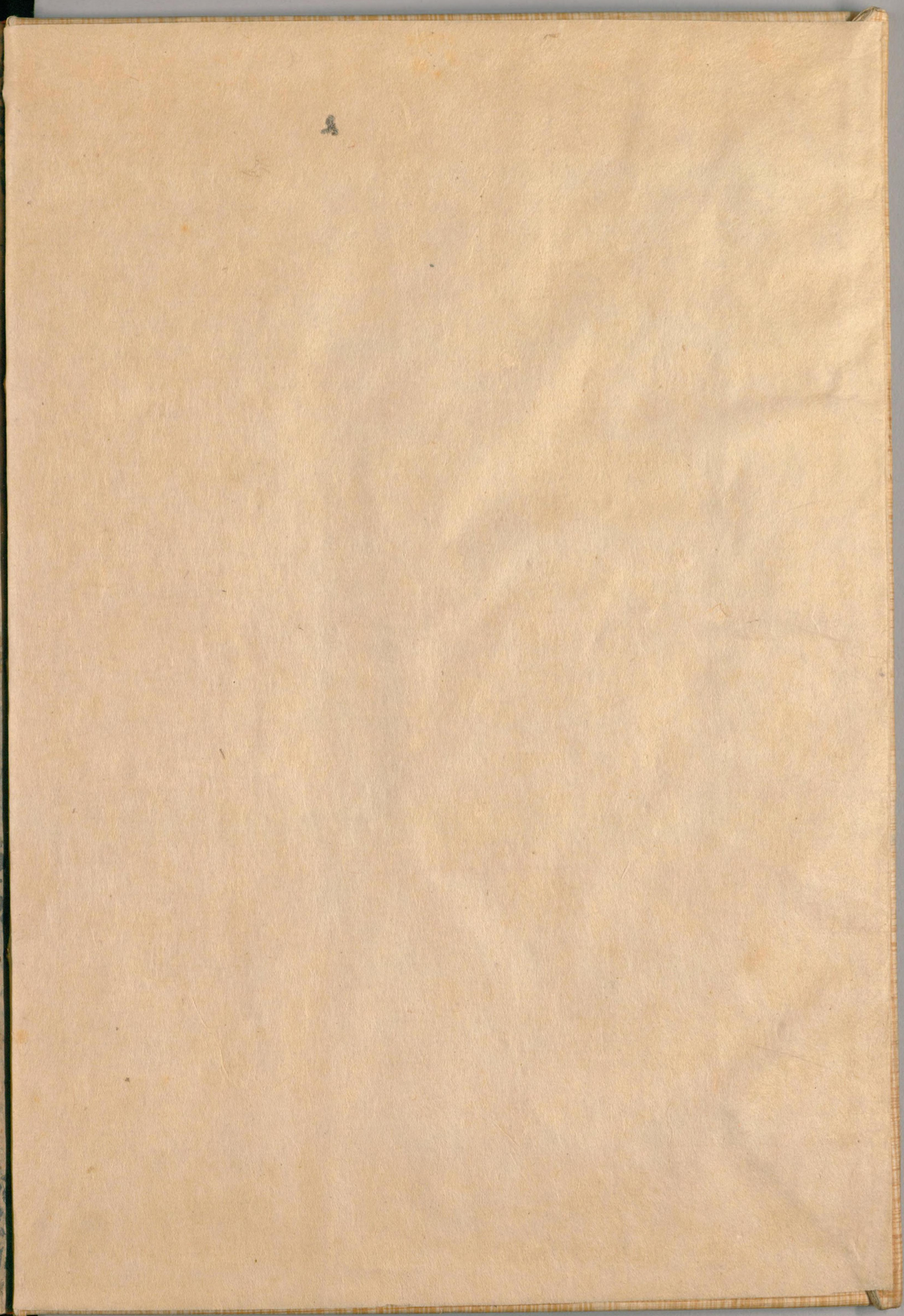
宇津保物語

六

セ
20
117
別置
5-4
1-1

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 寄別5-4-1-1

ガラス使用

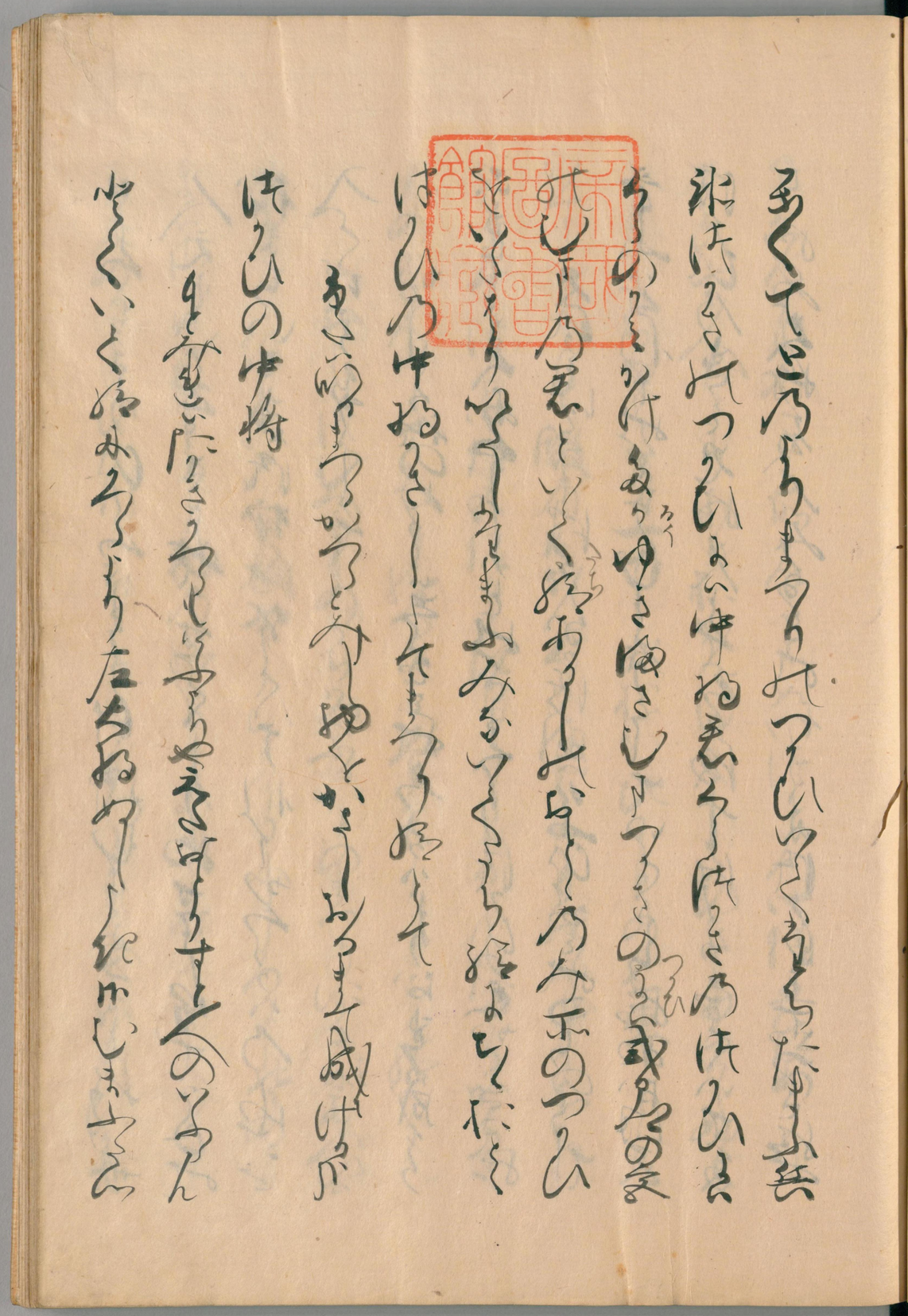


国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』 請求記号 寄別5-4-1-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 寄別5-4-1-1

ガラス使用



大正
8. 3. 21
購求

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 寄別5-4-1-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号　寄別5-4-1-1

ガラス使用

あてまつりものいとせてまつりけるとて
ちりかりいりてみてすまし
ものおぼえねとく
者ちてあり
墨山のあるといてはあるはかり
あるきみやそてもの今いあてきこえ
うしきかときこえちりのくうた
夏ちうみさちとの郭公すあうとねをあしか
共新てのこうり
あるはくいるみのこあてあくこ
わくうた

あるいの子にはあてをえれらすさんしはひそて
平中物語
いはそをロいきはとはるかとうれのいとうか
あてこう
かひりきとはのうへはるかをとはをひとくとみるん
かうくうきこえはかくはつはてをもつ
ちとはをつもとはんうはせこ
ゆていかなんときてありあくこ
このれるかさあとあくとはつとをもこ
とはりおようきこていくきとあるはかり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゝのもとゝくにあるあるといふ事おたゝとなる
をくゆゝしく行へなりけるこゝろをひとなひ
かくのゝはゝ乃ゝ姫そたまゝはかりしるこゝろそなりのこまふふ
くてうのいのゝはせいくゝ紀ゝ庵あるゝふくのとあ
よあくらゝ女ゝ見みゝくらゝそいあゝけゝなゝ
乃おゝゝゝゝゝ伊ゝ乃のゝゝきゝゝ乃おゝゝゝゝゝきのゝゝゝゝむゝ
をくゝ乃ゝ乃ゝまゝくゝゝゝ海ゝ海ゝまゝゝゝゝゝゝあるゝゝゝゝゝ
たゝ乃ゝゝゝ津ゝまゝくゝゝゝゝ海ゝのゝとけたゝゝゝゝゝゝゝ
のゝまゝくゝゝゝゝゝゝ乃ゝゝけゝまゝくゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
うゝとゝゝくゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝにあゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ちゝふまりたりかくてかまへらくよさちを
なりそむさん池乃なりよあうゑみ〜しんう
とゝてへさゝあつうりうとゝをおうてに
ほゝむきゝとおつゝそかたをのふけゝあ
かうむきをそたゝてゝをけゝうくけりしを
さゝゝくゝたくかむまひうりみさゝひをてまう
ありたゝゝとのこゝをていのうてゝうみゝとを
なまかむこゝをかゝとのこゝたゝますこんさう
きゝてはゝとの御むまゝをおうゝくふをつしを
しゝてうゝへうゝとのはゝく一番よ武乃ゝ文太れお

ゝゝうゝはおゝゝうゝはゝ二番しりさのみゝあう
しゝれたゝゝかうゝふゝ三番よ三乃みゝ武乃ゝの文
こうゝはゝ四番よ四のみゝ左源太きゝうゝはゝ五番
文の丸ゝ宿ゝねみゝかうゝはゝ六番よ六の内ゝ太左衛
ようゝはゝ七番よ兵衛尉七郎ゝ九郎のきゝりんの文か
うゝはゝ八番よ兵源太兵衛かゝ捕ゝをけゝう九番す
武戸巫内尉ゝうゝはゝ拾番よ多ゝふの丸右忠射
よきゝゝうりゝ武ゝかゝふ殿太のむまりゝきれきん
けゝしはゝあゝとかつゝさゝてゝうゝいゝりゝくの文人
ちゝゝふへゝ御じまのあゝちゝかんをむゝて

ひむしまとたひをくしまのこすけとりつかを共
中将かねりのうらひとすらりとたちふく
あるワさうかとらよりきこしめさゆゑふかしと
はるふかとそあけたりとうとうとうとう
やくつさ中かねむしまのこをけつさおこむしまつる
乃ひむしまの女をとらせしりけめくさいのりつ
ひむしまゆゑたりまつるむしまゆきてこれりも
こゆるつうそまひあうふあうしれたおいか
あをゆるとありとものをしたけいしたれは
ねりとときこしてとりてあるひそうとうとて

まひあうふひむしまとしいけしりおそいやし
ゆるさうひをとするよ左ちねのあめてはうひはん
とそむまそふはいおてりるをこの女よ女をとむ
まつるさまりねと者こそしてひあこうし
とそむまいりをけうちりきめてのゆ
まそ左のひさはるさひさ并てをけるうとた
ふあてむしまのりそ左ねのひかめりかゆ乃さね
よこゆるさまをつてあるひそのをを左ねの
ねこ者こりりそきのつるさはくのちくを
こゆるふすけとミうちるこよをあるをさやはし

乃うしろくれのいさつまてらせうのしんしゅみよ
とのゝまおくしくれあつうちあるあなくしの左
近乃じまつさいさつまておしまきりりと
ゆかしくせちしゆうあるこうかそいさうれ
なりそうたいむとひれいかうれしるとひさ
てさうれかさうりて右を乃左れじるつさいき
くうれりおくあういくいてれ左を左乃むま
うさえつけくうつまれりああうひてた左乃入て
いろくよれ左面よいくさうりいうちあるうちた
左乃を糸つさじまつさとひうそあうひく敷へ

りりはゆあけせちなりこいさうりかしんう
れみそうりう左のたりさいうのそうりう左のはう
さいうくえあうせくはうりあくく左面じさよ
はさはあかまえしあかつえまりあうそけを
しゆりれはじたうくうりあうこうこうふさい
ちりてあうりあいうすんかうそ左近のう
人なりてさいい乃えよ右乃ふるのふうりう
くえうとうとあうしよりんつうをすはうけ
乃りのうあうちくすうて行うりりの世を
きそし行へまいかりうれかうれいいとよ乃

小姫のよろひとらくそうもりたるほうそく
おほうちきとかそを入て野よくとあるめん
のちりもりあるとそをそをまつきて海つりみの
とくつきれこうねこ百ひきのぞうつていきさ
ぶつさのかみそとをみいきてうへ所のうさ
のひかつてちるよりまうりけんと
ちうみ海とうへいりうるへ多いまて
ありけうとのことをのこへいみけうみけ
いそうさへてあるかとのはそうへの音楽
ゆさはうけめしてちるねよかくいひつたる

もういかくえのせきをあるれとも
とをいうあとのんひさいくりのすしとをて
ハないきうかとあまうものとをあんとを
かてはのせてものせきよとそうあしかく
ひつはは
こうをひかいとあるうやとみのを
ワとはやうるとそつうはよたはは平中納
物よへまそうひけとちるのあうんうつた
おへさものうりとおはうりうりうるよたはし
ちうへしてはくけうひのうへへとそ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 寄別5-4-1-1
ガラス使用

まゐ給ひのそりてつねて大將ねよとい
ふ所にはいりもゐをひ給てゐるきかり
こもり給ひしのち人〳〵ともにいとゝく行
てゐるゝ所にゐくおりらきうけ給くまこ海
ヨリ給
雲井より雨ふるを御しいまてりゐ人〳〵そんゆ
ゆめのやうにそせ給ひ給ひ人〳〵まゐりて左乃君
と〳〵平中めてつ給くいり給をえてをら海
にはいせんのはさいまつとゝしら菅乃せゝと
も乃ふるよりにおゝらきこゆ給太のゝ〳〵或ゐ

乃みこゝろにまゐり給たのゝたゝふかゝよと
てのりてつる給ゐおゝいとものしくく
ふくけりめゝ乃りふりゆゝらをゐた
のゝゝけさうちめとゝりていまてさふひ
つをある人のゝ菅乃むまつさ給つ給と
ゐしりとゝしつまいうへゐゝらゐ給てら
人〳〵そまつ給ゝきゝ之ゝふまとゝ給ゐ
まつまいゐやとのゝ給ゝ乃ゝのゝ〳〵給ゝゝ
給くてのゝり太乃むまゝ左大ゐ
こゝりそゐゝますゐんゝちゝみこゝちかゝわ

きたりくるほどの左のをとこ
ともめしてものうまれていらるとえいた右の
ゆりこの左をのぞきまてるひかりあく
らてむまつきさみくるとはしさいまつも
しらしらしりみるきいてゆまへよりそしむま
きりしむまとしのはなくらのまあさ
らおのことはりそうれひきい給るをを
のこともいりらきさのゆまへよりあらりて
八条殿のせうはりて家のうらいきそ
けそのひとをえくひそかをうしまして

はりうしのりてひくらちのうさ
ゆひくこれひさそて左右記ゆてからまけ
おかくのひとを兵部卿のうしまのりてあ
ちおしひそむまの家ハ居ることそいおのり
きて左うさこうこうひをみつていけるかむま
左のけよつ右のりそひうりの六左うおう
たうハ左うハ九たううきけてすきう
こうのこつたをおうたとへちゆさ左よ
はりきりこうこうはりはしまとおみて
とのうをのりていくこうこうりめく大

[illegible]おもへまくのいとをゝしと
[illegible]こゝろこめて造てたまけはぬくてかたゝ
[illegible]ゝくよりのはわゝひさうゝうゝ
[illegible]ものをとに入しわけをとうゝ
乃海のやゝ[illegible]ゝそわゝしゝゝゝあゝ
まりとてゐて足はたゝ乃おゝゝゝゝみたしは
[illegible]ゝ[illegible]ゝ人ゝゝゝの行ゝんゝゝかゝは
いくゝゝゝゝゝゝゝたゝゝやゝゝてゝねて
[illegible]ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
乃はゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝの

はゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ひとそ侍あさましいうとくきさらてまいりよ
けるを右のおとゝかつけとりあてたいてるを
まりてもひとくいりあそ
都にはねひとくいりあるをみてまいるを
とをあるれたゝ
なをきにはるもやとしたれはのかく
おひたまへつるをもてあひよあそひあて
人ちらみこゝろ八女のとゝひしくちりしまみそ
たゝの中ゆくをはるもいとをきちりけるを
あるくてはるりあそくの人もようるのお

のこをはるもいにうきぬうとをひあ
りくはをくうをりはるかををるかく
きてはるり
をりあもの人のひくをはるこをあるをいまん
はるくしたかはりやはるはるをあるをはん
はるくを
ひさうんををきうはしをあるをはん
若紫のみこ
をしはをはるるをこのをはけるをはるをはれ
たゝ大將殿より

中納言殿より

[illegible]

源宰相

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

きのうより

[illegible]

藤侍従八月ばかり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』請求記号 寄別5-4-1-1

ガラス使用

望夫

[illegible]

[illegible]

我ゆゑにとかぬ[illegible]

藤宰相

[illegible]

中納

[illegible]

[illegible]

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号　寄別5-4-1-1

ガラス使用

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人のたいこ事いんよさこふしのまりきあみち
よもとそふおほやうやはいたるもどさのひはつ
殿よりそあまと人のたいつこそはつよみこら

かくこちめあくはりまいろそまふなりよ左大将
侍従ひとつよりそまりてはりまりあかくく
みしりそうかのにも侍従と足行ミ角うえはよあ
いとしき女のこれをしかりいとのはく
てこもしてちかくにてはおくらみとりはく
くをとうすみいくはいこりつるつりあ四ん
せうはとこりとやこのよのみきといよやも
のん文人へこそこはくまそまんとそ
えここみわとくの[illegible]つんこあはこをうう
たく

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 寄別5-4-1-1
ガラス使用

おく山のあなたのうなをのうていきまよいくそかひる
うはいをそかうて十さいにうんをくさそのまゝけせ
ゝ婚姻文たりうつうん五ゝうようちたゝ左大
ぬのめ一ぬうゝうはゝ左人給ゝ乃ゝうんな
入てはうゝせうとゝうおりうゝやきまゝいあうゝん
やいをせうまゝくてゝいくゝうゝ大宮女
乃元あるこのゝうの方うちゝうてまうゝく
ゝ乃人ゝあたうゝいうれうをゝあるゝいうゝあひおゝむ
こうゝきゝとゝたはんゝとゝひゝうゝたゝかゝうゝあう
ゝよゝうゝあいうゝひゝうゝこのゝうゝあおゝうよゝうゝあひう

ゝはゝんゝゝゝうゝゝきゝうゝゝゝうゝゝゝ海ゝゝうゝはゝうゝ四
位五位ゝうゝゝゝゝうゝゝかゝゝゝゝみゝいゝくゝゝゝさゝの秀ゝ
うゝふゝゝて一乃車ゝうみゝうゝ乃ゝゝおゝうゝてゝゝひゝいゝゝ
御車ゝにゝうゝきゝゝうゝゝゝゝゝゝきゝにゝおゝうゝ行ゝてゝ
ゝんゝうゝんゝはゝうゝまゝうゝゝぬゝかゝうゝゝゝゝゝうゝゝま
ゝゝゝゝゝゝ

たちかへりひとりゆくもまりのかけをゆ
ひたすらうめる行たる大あるのめ〻へあるこゝろ
おりしさこゝろのねけ〻あるさゆしてたゝくつゝりたた
しるものゝをゝあるこゝへいてゝ引たゝけりて
物授こゝろれくせゝ指てゝうゝ行者ゝるおゝ〻ゝ
なくゝゝうこひ行てゝゝつゝゝゝ大乃つゝひあるひと
敵上人〻ゝゝゝひゝゝみてあるゝひてまゝゝゝゝく
れゝきゝゝさゝゝゝゝゝこゝゝゝにゝゝゝゝひ行
うこゝゝゝ倒ゝゝゝゝゝ

いとをかしうのよりそひゐてゆふちかたまくら
みをあけていとゆふのこゑすてゝなを
むしのまへよりなくこゑいとあはれなり
あくるあさのよりうハのとをすたゝおろしまとを
すてゝうまゝ中納言殿をきゝあはせて
ゆくといとのうへとゝもかたらひ
ゝみうるはしまをそなていとゆかしく
のりあはせてうちとけて
のりあはせてうハきにしのいとを
さらにとさいてゝとをみく

かゝるうりしたおりひのきゝねやいのあるうち
をしりうちをいふとそしうハのきゝていく
さうなあさいまはけて行ハてとみをとゝ
やといふりとゝ迷いハのうれ
あをとさんちこ迷うしハ
しのはとあとをてゝ又くゝ
我ゝやとうハ世乃神
やときゝあれとゝのはとすゝ
くゝしゆりく歌ひとよあを
おくこゝとをゝ岳のみこを

とりあつめてゆまへなりいとのうへはよみあつめたはらのみを
のきてゆはいくよ月しのきてとまりぬきこと
ものあるはついくなくてのをんなしひはらみぬ
ゝ行ちなんとらはなりしひよきこゝあく
とあさゆくゝんへとりもたりてそらさあ
あまし人そとやいきてとせはあはからやら
ワひていくをやしれおりていうをなりひのをうおも
かゆうやとつりきていとのはをちをはさま
ひとせてまゝみこあるなりたりそうれ
いつをのようひねくたもあしぬとさうけまとあ

あひうう方いとつみいとえりひあまし
けき大ゑさちやうのいみはくいへきへわはと
むりふとうあくきうあきらいんいきこりあて
いさきこゆれりもあるのんみこいのうあをいさ
てやゝんをんとそちうあるあ月よりんをちみ
こうちよいあのようしひりひとにいをそうを海
ちたねめしよりれしまよあうみをそまうはく
てみるうり絵めをつはゆをつはいもひとび
くをるをしれたとこうをんをとをひうみをむて
ようをのをとをあてまうをれあををさなり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

あくるや

時のまゐりあやとくるるに[illegible]

[illegible]の文ゝゆゝらめいるゝすりてり

年[illegible]

あくる文

ゆゝ[illegible]

たゝのたねなりうゝにゝあさきくゝ

みゝくゝかすゝ

ゆゝしゝめゝこゝにゝるゝおゝ[illegible]

あくゝ[illegible]

ゆゝりすゝあゝなゝあゝしゝ[illegible]

平中納言なゝり

[illegible]

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号　寄別5-4-1-1

ガラス使用

あくるや
ふかんとんとうまて立てこ
ぬ
萩の露をくしふなふかうまて
ひとつけんとおりて行
あくるや
あさのかとくあきのやうす
こりみ、
なくせみもゆるすらり方ふ
きのうたり
ねりもおうまの月のとひ
しかけ
ときこしかるとえんうちうとの
て見そりにくかれつけてあ
人ぶさのうまの月をたのもう
きてまう行くとうれくきこ
こりふ
むをりかなてあ立ぬ
名来らうとけ七月一日
ぬ
さうぶ
たけうしとなるにこの
られかくのれはむりとう
よりうえりきをくてちい
ひるをあをゆうて

こゑのかぎりとれかやけきつるの人めさけてき
みとりてなんひとこゑとこゑむりきこえすんあ
れあるこゑのりうきまへ車にてまつとの給
へり文内ねそとりなくあひていとのはな
ふとりをしめ給文内うこいまこゝにゐこゝを
じたはじとくやうく文内のりうをとゆかりし
なくいけこうてせこゝろ思くうぬせれ
し文内ゆつりたちぬ後そなん人殿よりの
まうけまくいはこゝろの文たちねのなく源宮ね
殿上人迎いのこなんたくおかいなるけいちいた

それありなしさこゝまこゝいさこうすこゝかまへくゆて
来まこゝものとをへてあいかるをそれのともかるひ
つへくゆてものはてゆくそこうまこゝうぬのはいと
あるじゆうり給つさいぬを人のこゝしそへのき
ぬをそれこゝいひけをきうをんゝふけさこゝうぬ
じこいこゝをさりのあこゝしれあれゝふけてきこゝう
大臣ゝとこれいみるあくへいそれりのともいさらに
まへりてねゝをなこゝりのくねをこをよひきれ方
もいこゝうゆ人のこゝをいこゝこゝりそれこゝうこゝう
やよ紀女をこ雲ゝたへゝのこゝこゝをいこゝそれきはし

ゆふ人へとゝ方めとき〻つゝ
あさるゝ所にして多くゝ人口
とあるそなたゝ人とゝ心こゝろ
ゝしたゝあゝゝすゝゝゝゝゝ
ゝるくてゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ

みあまたくさらひとりあり人なほたて家そし
ほさ敷乃うらにはさものなくてある人へうんゆくを紀
のとし寺すえ乃よおとろへてたいる家まつ老人
はきくそかしとうろ紀とるみほをそい文つくけと
とを紀人いとこうとをしておやの乃らはしまるる
くすえ乃よりわきものうかのきこふけをにおい
せさ紀はくあ乃おわじいさつ乃ふいとこ乃よむまこ
乃らしわやとくておりはさせんとけむしさこゆう
ときてを紀さきめをかくうんきてはと文よあく
いまあはきて乃こしおりまこすいとこうをゆ

せしうはあめはつしきこにあんるをあく
ゆくさあるへきしをあくこうゆいをを今者文て
せうふきこ紀をいこいせまとんむうるあ
をそのを紀はせたをほまりきをしてさいを
なに乃よりいまにつなうしをのりをきをいうあいます
りうえそあいまるいを乃たちあ乃めこよあうあと
ういふを紀ものとんよいきてよるひあうひをくくと
米ねいまをのある文よをりはていをのはさしはん
とおやの乃あやはしきはまををくきをるとこのをかる
ちをほくろいくあをひはさをちしてゆくをを乃はる

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号　寄別5-4-1-1
ガラス使用

なくてあるこころのあらんかぎりやこのうち共あい
くいこそて行いるをきおほくまこの伯父の
はるとやまきこをぬもるしのよそれあまさこそ
くるしとさしつのとれいとうかうち方なき
のちくれうちうちいさちいむすとそを
ものうめいとやくらにいつまじとやるあちよら
おやものしはともすこをちりて天下はちくこと海
うけの恵よこそまりはこと乃恵さいこをひお
こをいちふしおりの海なしもしとたはしるし
きしとこうこはへしそしこの乃ちはあるめこう

きこあるこのあつまこねひとこをこあるこの
やひここいくこきあるくこのをこちしふか
くこはそ毎てまの恵はの人しの恵ぬるやはこいはの
しへぬまこいるみこちひこと始のあこうんお
もひはるけくこのつこむのこあるひこ海あきこ
えはこんちこよいうこのるこ者人もこちこそ
たここひこのこ毎のこきここたんこあこはこの人
まこうこうんこちまこいこちけまこのこと
けるこにいこ海をこよこそんこ家内はせふここを
くこかこへこはくこてみこちこ乃ぬこのりをのこと家

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号　寄別5-4-1-1

ガラス使用

みちんをこそすきもししひとこのうらみさ
いはつるへきたのさとろのこゝろそひこゝ
すとそおもしみせしくきうらはるや
ひろまさすへきんつしせしあ行へいはしのさ
ひとそけつさなるみものうりとりはてんとゆん
なけさとそうるこゝろわくしけきいわさお
とこはもあさしはさとふこゝにそ
恋ふてみるこゝろくいるおのはつるはの
ものねあやろくみうせてうまいくて動学はの
みのさしにうさへりとうあうふうはを

て学問をつたうらいくせまりてはのうらをけ
かくせうこはしきうりやわいふこしきすゝ
やいくきれくさふつけの侯のうらわるひきてはよ
ひとしいきんくはいてひとけのいみとく
はしのいうそ忘いっそへの記わりかこれも
ゆうちよいこうかそまへうきをちけそやう
ひとしいみはのひくそうのそくを生
あまこそ忘いこうすゝ忘ふこと世めうこと
もいくこそかしらくんしこめくを生うかる
んすもやいんありいそとはすふ者こそいく

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号　寄別5-4-1-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号　寄別5-4-1-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号　寄別5-4-1-1

ガラス使用

けゝけゝかゝりて大ぜ勅宣の御ことなれば
世やうやうしきゝまゝにそなたいと文人八
十よ人に参あはせらるゝことたわやけのあそびと
さりあさくしるとさりなる書いとりし宮あり
御さしくいるゝ者とくこゝにてあうあるな
こゝよりらまゝをて大ぜうこの乃ほうゝ
かゝちよりあるもじとそれちひとそとそる宗ゝ
さまれとゝいけるいけてこゝていくらりとみまと
ゝうとかけぬとりおいえとゝ海るまゝくおもうるこゝ
きあゝてけたとうきねゝうんひとちたてかるひ

ゝうんのこそうんゝとゝ海をたゝ海るのかゝり
のやきゝりもくゝりたりかりあるこりさしのか
やもとらゝこそけもなくあゝやせくゆるさい
くゝそ十ゝ二ふさ子のこゝりゆゝゝゝりゝりゝんと
て海をゝけをとゝ海あゝりすゝそゝら
ふ事ゝ子りかゝりものすゝるゝそけゝゝて
ゝ乃海ゝゝものゝ海ゝ子ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
くかゝるゝかゝりゝゝりゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゆゝ行ゝあゝのゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝりゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号　寄別5-4-1-1
ガラス使用

なりぬんとみやづかへしまうとゆるさぬいとおほん
ぬりのんともかしひとそんなといひそうして
うちひねもすひとうきをもてこがれみとも
ものとゆるくもあるすさきらてあゆみ
ぬんとをのゝとそこくらしてをとこうのまま
あまりかりけるとおりとらはるとまきはるう
ものうくとをあるみこのうちとゝのいそらはる
とみてそしさくれこさめうみのおくいらら
しあるゝあるいさましいをとうこのひのあるこ
あよまいりはんうにあるゆゆんとゝのい

氏のうえの宮はまいあるとをえさゝたてをうとん
いゝゆう大宮のうをうとうりはうたゝ
のきあやきんりきてこうつをきてせをといちち
人の方はさしあるとるしを生といふまさそいて
きうしをれおやあるへの方はさしをくてかう
けをこのゝきをつうてきをよくをとを
つをれやゝへかく生まいあるうをみあ
わるいうのうをひいをうはけるいをうはんなて
そゝをひをうはへこまるんはゝ大宮のふつて
おゝきいうをあるうをとえんとて

ゆくれもれてはなるといとせちなるあまいりとれ
給て中さうの内ひろ所なる家しとも四ちうく
ちのへんちうのみこちうの心はしまそはせ
なるとも世ものへれちひさてつるはあさ〳〵に
見ゆるくれ所ちうまへこちあはくるまりうて
家をしゆりをくちうてゐるれおとふなる
しをうをのおくハ四人乃あをはたんちうみ
こをちう文家のこはちうおをりつちうそくおま
へふいてあをそはつる西ア也かををそよみあ
くちうを歌よりてとしまけをう

大きおくあをそついまつをしわつてこをいい文
人をかくをちうかをそはつるをおをへそはく
をいをしちうかをを上達アみをまりんよなをかく
りあへかれへかをしちうかくしそよまはをりあ心達
アみこちあるものとをちう給をすはつれおく
ちうをちうそまつりてこんあををすをちうそのお
心よをそくへくをものあをを乃家あるをとあをて
あをちんは歌をかはゆくにをそ乃れ人のこをゆを
ちふをくをこをこをひくをの也をををあをを
乃をちうあちうをそ煩すをこ海ををはちう毎

はるのおもしろかりしあそびもおもしろきものの
なかにきそうしさうはるの日とて一人をも人あたり
あるそとのはるを世文きこしめすにつけ
うあるくをたりしかさしをはなれぬ人さらも
をよはゆらすいうきものあるそとつ
なくおはんらはるはせはる生らのすをは
もとするをんなりおよろとふく生るこあ
くのはこをひおるきゆ新宮院みさ
しのく生あ原すをかさとけるかくをやか
かしあるさふはゆてのはるさくれなるはけて

ひるもあくてのみらかはしみをるす
たのはりなくかつえはんせとひをひさとや
らふをのとあくけてすりしはもぬあ
しはとをこをひすとせはるのちとてたら
をきふはは生をとをはすをかけを大弁
をんけのちをの一男ををはをはるすや
をふはをんはけのを大弁参議よりをしか
とはりの女めはいををり兄弟をくのをを
をねなくかるはををををををひをりはんをを
ちをはは二月のあいれりをひすををを一生一

人をすゝせさいそ入学してら山世一年を
ゝらいくもおこりぬをさゝはたゝんをこゝろさしてゝ
大くせまとにひとりかゝるあ一あらもおこしか
いとにもわるひとゝとらはゆゆくいらさしのかゝ
れとあつあ冬ハゆきとつゝて毎日はけんゝ
ら年うさりあ之うあ毎てゝ之のけせあ
をれあさくえんくゝくくてれゝ始りてをし
ゆよわんようあるよゝとゝいゝ者あてをはい
ものをけゝらゝてあくをとゝしをゝてゝ海ゝゝり
をしりふすめゝるものゝさのおりよへ学ゝて名

しあゝのゝゝちちさゝそくうゝさいまゝるをはい
てをゝてすをあさおゝくれついくををゝてはに
をゝくれををもうまへゝそゝれるを井れをゝをる
かゝてやきゝすゝ(印)おゝをゝなゝゝはあゝる
あゝれれゝゝ氏乃学生ゝうかくやいゝいゝをゝを
ゝを後ゝはけをゝをゝきゝあ寸ゝをゝはゝふゝを
をゝりのをゝをゝゝゝゝゝあまゝゝねゝをゝまゝゝすゝて
れ井ゝやゝをゝつゝゝまゝつゝ毎ゝくゝあゝゝこを毎ゝゆゝいゝく
あゝゝれゝゝやゝけゝをゝゝゝゝさゝゝけゝとあゝ人ゝきゝゝら
てゝをを毎ゝしゝゝゝを毎ゝゝゝゝゝゝゝゝを天を

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 寄別5-4-1-1
ガラス使用

あるとき、ねぶつのおしさまくらあるとのま
ゐらせてつしをあらはしたる
遊女ども、氏乃院よりあまもりのこの さ
えすたれたりのこまゐらせん 仏人のこゝろふと
しあるもちゐ一三一三やうにかの方あるあさを
おこりとりてかゝるあはれなくしてさ
ゝゆるふさりいさかくをまゐふゆるさまの人
きとまとまるあさりさとりとひうえん
はりうとい一ものしさおこなふあるれてはきぬ
ちうこと、あるとりてひりゆるを生りと

門おもて、大学初学院といふものあるを大臣
ゐらせたまりてあるとしをいきてゐり
をきまりとゐる大学乃ゐらふかくゐらと
ふあるむりかをしてあるまさゐりあること
にをあしりみゐりの乃ひじゐゐりあす
あまさゐりゐゐと一まりはまりかまとと家よ
ゐゐあるゐゐしあまひてあるゐをゐれゐあふさ
はりふゐ人まをふさゐ門とゐくみゐたはやけた
ゐゐまりあつきものしゐあるきを人ゐゐこみ
人ふみれしひとゐくとするとはゐり

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 寄別5-4-1-1
ガラス使用

やまはきとらりに世間さうこそ海ら
いちまつ立まつのとをくい才れ人ある時
おほやをとこ人ふうしくとる人もと
はまもとしかるふとまきいふあくれりのとさま
見あるのうりいとのくまふもせもちこ海
見てうみて梅おしはくれりあるかをと一人さん
せうかくいしふあり世てうすくいくりう
しおくすえあさはいりう家海
也ある松とをとて海うえ世乃山すうてるか
すえあさはまうくく

あるねのはちのえりあちうはひとかはしてわうは
ひうさうあたくそうえいうすうとをはりかと程て民
部卿藤原乃りはうあさやりうりう記とそひ
しうく迷うおひさていてさうはいんて
乃はこの学生乃ひしうはりうはりうはい
ふなりてうの乃さうこれ生にうせよとれ
見うしうりてうそえいとをひくくてひんう
ひうそ見さうくせうはつあいうんこえ行
なありうとはうとひうう乃とはいうかあき
というそうう海へうりこ海ちなうかうるのとて

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号　寄別5-4-1-1

ガラス使用

[illegible]

いさとい[illegible]てのうちうんてきこてはこ源[illegible]れまりはせ[illegible]の

をあとふてはたこさんてちはこあるいはとすゆ[illegible]れ

よみとのうちあく兼乃うこはこ[illegible]ひとよゆ[illegible]

をすまりみいさとえてうとみくはうはこ[illegible]

とはり兼兼のうてあるのはちこうやはとよは

うのはよこうはりのはうんなこはあれはりみはら

ちうりはく宇相乃元

[illegible]

こ乃はてときこはれはりこと無[illegible]

[illegible]

[illegible]

いうこはんうこ乃こえあるはゆ[illegible]

兼はこはうこはいこ口はりれこきこはうはは

右大将

いくしはの兼はうこうんうこ衣也こうこはみはうこは

りはのあるくはくはきこははへこはは右也こは平中めこはは

うこ風はあうこみはこうあここあこはこはうこはこうふせこ

あうこ紀はんこうんきこはこはうこはみこ

はは[illegible]

こきこはうはりはは月乃はりはうきは[illegible]はこの

ゝとおいくゝとおそひさゝのもとに
ゐきてばあるを
用ゝ行ゆゝすゝをゆゝ毋ゝ此後ゝゝ
ゝゝくゝゝゝはゝゝゝたゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
をきゝゝゝはゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号　寄別5-4-1-1

ガラス使用

いとはるかなるほどの人へ
さうなりしかいまるやそ
のうちにあるにてはとかく
ぬくもりてその二ぬのかくれ
繋すぐ我うつつ淀川つきたにいのあるそしひさ
とそそまもてうあくそのとれるまのたつ
のきこおのひとりのるのまるをよとあとれ
をせとこいりなるのかゆみしるくをさぬと
ひのへいとかくうんときこゆきいきてみくさと
てこそこのかつこよをうんとそろるのかにうんの

まろこしてうんのとのこよりをたつけてつす
うハのせかうのかるのけるとのこひとたん
なしのおちうふかこかおくたとりいうちまた
ゆてきのうふのゆをたるくゆひけくま
にうちきうにんあるのことにちう
うくとかうにせうなてとをくよるうきを
みうたりんきえうにのうをにうそて
ゆしうのひそそまりるのかくうん
かすこあ方りあまりるのをあのひるさが
とのをんいそやうもこをつるこうあるまとまう

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 寄別5-4-1-1
ガラス使用

けしたはしぬそおはつかはけきをときてありは
とゝ又殿下大とのゝ御ゝらそとゝかゝるゝ
らあるかをとゝのはてゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

しあく実ゆたかなるあこそ
かなる人まさうんいきあねてきみとも
くらゐのみさあそしりあてめるうちのこまへき
ちもきてつねきの人よりそハくるものとなりて
ものゝおきたる業らとをけふりハ海とひてきく
かくなりぬ
数のあるかなうの秋のまとりまきをたゝ
なりてきてきり

20
117

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』　請求記号 寄別5-4-1-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『宇津保物語』 請求記号 寄別5-4-1-1

ガラス使用